

平成16年度は

# 「三世代が住みよい町」に近づいたか？

## 〈決算委員会における質疑ピックアップ〉

- Q 選挙経費削減のためにも投票時間の短縮を行ってはどうか。  
A 選挙管理委員会とも協議し、前向きに検討していきたい。
- Q 医療費等削減のためにも病気・介護予防対策を推し進めていくべきではないか。  
A 関係各課が連携をとり、住民の健康等についての対応を充実させていく。
- Q 土砂崩れ等の災害が起きる可能性がある箇所を調査し、事前の対応をするべきではないか。  
A すべての箇所について事前に対応することは予算の関係もあり難しいが、大雨等の際にそれらをチェックし、危険度の高いものから順に対応を行っていきたい。
- Q 平成16年度の工事申請件数と、施工件数は。  
A 18件の申請があり10件施工終了である。可能な限り県費補助をつけて工事を行うため、事業残がある。なお、残りの工事については平成17年度で行う予定である。
- Q 町内には郷土館等古い歴史的な資料が多くあるが、今後どのような取り扱いを考えているか。  
A 今後の郷土館の活用については中溝の商工会を中心とした団体から意見をもらい、農具等についても文化財保護委員等で検討を行っている。



## 平成16年度 各会計決算総額

(万円未満切捨て表記)

会計名	歳入	歳出	差引残高
一般会計	81億1,989万円	79億1,561万円	2億428万円
国民健康保険事業特別会計	24億7,220万円	24億99万円	7,121万円
老人保健医療特別会計	21億818万円	19億8,418万円	1億2,400万円
公共下水道事業特別会計	13億7,839万円	13億3,419万円	4,420万円
介護保険特別会計	13億9,277万円	13億8,001万円	1,276万円
土地取得特別会計	7,230万円	7,230万円	0円
水道事業会計	収益的収入及び支出 営業収益等 5億6,894万円	営業費用等 5億3,323万円	
	資本的収入及び支出 分担金等 8,803万円	建設改良費等 1億2,386万円	

## 平成16年度各会計決算

- 平成16年度熊野町各会計歳入歳出決算  
(一般・国保・老人医療・下水道・介護保険・土地取得)
- 平成16年度熊野町上水道事業会計決算

### 総務部門主要事業実績の抜粋

- ・地域振興事業  
→事業費:2,888万2千円
- ・デジタルミュージアム事業  
→事業費:3,410万4千円



新築された中溝自治会館

### 民生部門主要事業実績の抜粋

- ・子育て支援拠点施設整備事業  
→事業費:5,292万3千円
- ・環境センター跡地整備事業  
→事業費:2億9,205万8千円



焼却炉解体後の跡地整備が進む

### 建設部門主要事業実績の抜粋

- ・町道稲垣線改良工事  
→事業費:5,783万2千円
- ・深原地区公園整備事業  
→事業費:2億5,469万1千円



川角大橋架替工事の様子

### 教育部門主要事業実績の抜粋

- ・町立学校施設整備事業  
→事業費:3,590万7千円
- ・町立図書館建設事業  
→事業費:4億8,158万9千円



待望の町立図書館が完成

9月定例会において平成16年度の決算認定案が提出された。「三世代が住みよい緑の生活創造都市」を実現するために、必要性・緊急性の高い施策について、限られた財源を有効かつ積極的に推進するとして予算執行された平成16年度の各事業。これの成果を審査するために、議員全員で構成する「決算特別委員会」を設け、審査を行った。委員会では、各事業予算が適正に執行されたかどうかを調査。さらに、来年度の予算編成と行政執行に活かし、今後の行財政運営の改善に役立てるべく、熱い議論と意見を2日間にわたり交わした。最終的に適正に予算が執行されたとみなし、原案どおり可決した。